



報 会

白 日 会

第61号
2023.2
白日会事務所

白日会事務所

〒104-0031 東京都中央区八丁堀四一八二〇二

TEL (03) 六二八〇五二二八 (FAX 兼)

郵便振込 〇〇一九四一三九八二五七 白日会

HP: <http://www.hakujitsu.com>

MAIL: hakujitsu-mail@trad.com.ne.jp

第98回 白日会展

令和4年3月23日(水)～4月4日(月)

会場：国立新美術館

授賞式・会長挨拶

中山忠彦

本日は、一步間違えれば世界大戦にまでも到ろうかと言う危機一髪の状態の中で、私共の授賞式を開かせていただくことは誠に幸いなことであります。受賞者の皆さんおめでとうございませう。ご来場の皆様ありがとうございます。



日々精進を重ねて今日の賞

を勝ち取られたことは、誠に

価値のあることだと思えます。

そして私共は仕事を通じて出来

る限り世の中の役に立てよう

と、ましてや、この不安の中

においてもさらにまた精進を積ん

で、明るい世界をうみださねば

ならないと思えます。

只今から授賞式を催します。

どうぞよろしくお願いいたしま

す。

審査委員長挨拶

中山忠彦

白日会はご存じのように、写

実を標榜する団体であります。

長年に渡って、今年も98回展

本日受賞された方々をお祝いで

きることは、このような社会状

況の中において誠に喜ばしいこ

とであります。

審査の内容は、皆さんご存じ

のように白日会の体質とモツ

トーの上に不断の努力を重ねら

れた結果が、このような結果と

なったことを非常に喜ばしく思

う次第であります。

審査の内容は細かく申し上げる

よりは、皆さんの作品がこの厳

しい審査状態の中でも、白日会

を身に着けていらつしやる方も

みられました。このことは、審

査をすることは、逆に審査をさ

れることだというように、私は

感じております。

これからへの期待に対する喜

びと共に、私は審査に誇りを持

ち、皆さん方の将来に責任を

持つて今後に向かいたいと存じ

ますので、何卒よろしく願ひ

します。

第98回展は2021年11月14

日の秋期総会にて、全てのイベ

予定されている第98回展への影

響も懸念されました。しかし2

月6・7日前後には感染者がピ

ークにて、その後感染者数は下

降傾向となり、第98回展は危ぶ

まれないながらも無事に開催するこ

とができました。その後は新型

感染症の弱毒化の認知が一般的

にも広がっていき、続く名古屋

・大阪の地方巡回展、各選抜展

も全て無事開催の運びとなりま

した。

一般公開されなかった96回展

に続き、97回展、98回展と全て

開催が危ぶまれる中での施行で

したが、本98回展を過ぎてよう

やく展覧会そのものの中止を考

慮に入れなくて良い状況まで落

ち着いてきたようです。

この世界的に猛威を振るった

新型コロナウイルスとその対策により、

社会状況が一変し、また美術団

が、例年の水準まではまだ遠くあります。現在と今後予測される社会状況の中で、観客の皆さんに実際に足を運んで作品を直に鑑賞することの意義を提供できるかが今後の鍵となっていると言えます。白日会の方針に則り、真摯な姿勢で審査と展示に臨み、第99回展では原点をより強固にしながら会期中のイベントを復活して臨む方針です。

巡回展報告

名古屋展

中部支部長 竹内 恵

令和4年4月12日(火)～17日(日)

愛知県美術館ギャラリー

令和4年4月12日から17日まで愛知県美術館ギャラリーで開催いたしました。

第97回展に続き新型コロナウイルス感染症流行の中の開催となりましたが、今回は昨年と異なり世の中の動きが活発になつたせいか入場者もコロナ以前に近づいてきました。

レセプションは中止となりましたが、表彰式は来賓をお迎えしない形で簡略化して行いました。

中山会長はじめ池田、寺久保常任委員にご臨席いただいた上、絵のご批評、ご指導をいただきありがとうございました。

入場者数は少し挽回しましたが、往年の数字には及んでおりません。しかし有料入場者は若干ではありますが増加しております。

4月16日には大村秀章愛知県知事にもご鑑賞いただき全体としては盛会のうちに終了したと考えております。

入場者の評判もよく、毎年白日会展を楽しみにしている方々へより良い作品を呈示できるように改めて心を奮い立たせた次第です。

数年前まで、入選に厳しい時代があり、一般の応募者が減少しました。

コロナ禍にあつて出品できない者、落選が続く脱落する者入選が長く続くが推挙を勝ち取れなかつた者が他会に移るなどの傾向が続く中、新人・若手の中に実力者が増えていることは

好ましい傾向で、今後の活躍に期待したいと思えます。とりわけ、他会で活躍した方や長年独学で実力を蓄えた方が、白日会展に出品し成果を上げていることが支部としてうれしく思う次第です。

中部支部も高齢化が激しく、この1年で逝去、高齢のため活動を停止する方が会員だけでなく5名にも及びました。この傾向は今後も続くと思われませんが、上記の新人若手の活躍に期待しつつ、支部員一同、自身を叱咤し頑張つて参りたいと思えます。

関西展

関西支部長 児玉 健二

令和4年6月8日(火)～14日(日)

あへのハルカス近鉄本店ウイング館8F
近鉄アート館

近鉄アート館

会期は令和4年6月8日から

14日、あへのハルカス近鉄本店ウイング館8F近鉄アート館において開催され、159点が展示されました。

96回展は中止、97回展は中4日の開催となり、98回展でよう

やく平常開催ができました。

陳列を池田・広田・中谷・寺久保常任委員に担当していただきました。少ない壁面のため難しい陳列になると思いましたが、壁の側面に小品が展示できたため思いの外スムーズに運びました。

初日には3年ぶりに、広田・寺久保常任委員によるギャラリートークが再開され、午後からは中止となったオープニングパーティーに代えて、会場の上階にあるホールで表彰式を行いました。

式では中山会長から開会のご挨拶を頂戴し、高松近鉄百貨店会長・徳光読売新聞文化事業部長・吉村ホルベイン顧問に、それぞれ関西展での賞を授与していただきました。併せて98回展の受賞者・推挙者・初入選者の紹介及び、96回・97回展での初入選者を紹介することができました。

初日及び、関西支部が担当した計4回のギャラリートークには多くの観客が集まりました。このような感触から集客もコロナ前の状況に回復したかと思いましたが、総入場者数はコロナ

前の8割強という結果でした。

百貨店が多額の費用を負担して開催される白日会関西展では、入場者数が重要視されません。関西支部では支部総会等で開催継続のためにも集客を増やす方策を考え実行する所存ですが、支部員にとって前期・後

期の展示替えが招待状送付等のモチベーションに少なからず影響をもたらしていると思われま。それに対しては前期・後期を問わず、支部員が自身の展示期間中に輝けるような施作も併せて考えていく必要がありますが、地元の花やかな会場で自展を展覧できることがいかに恵まれているかということを知り徹底する必要も感じていきます。

選抜展報告

◆白濤会展

あへのハルカス近鉄本店(準公式選抜展) 令和4年6月

◆明日の白日会展

日本橋高島屋(公式選抜展) 令和4年8月

◆白日会「デッサン展」

銀座 永井画廊(準公式選抜展) 令和4年11月

◆三越会員選抜展

日本橋三越本店(公式選抜展) 令和4年12月

第98回展 総会概要

令和4年(2022) 11月13日 16時〜精養軒
 ※8月7日に予定されていた総会は、オミクロン株によるコロナウイルス感染者の急増に伴い、一昨年と昨年に続き延期となりました。
 会員39名の出席と会員217名の委任状により、以下のことが承認されました。
 同日14時より行われました常任委員会を経て、98回展事業報告、98回展決算報告、99回展事業計画、99回展予算が承認されました。※在籍者には総会報告として別紙が郵送されています。以下決定事項を報告します。

99回展にむけて

- ・公開クロッキー講座、毎日がギャラリートーク(絵画部のみ)を通常通り復活させるという方針といたしました。懇親会は中止し、授賞式の後に講堂をそのまま利用して百周年記念展に向けての講演会を予定しています。勿論、状況を鑑み中止延期となる可能性はあります。
- ・第7室において、―先達を偲ぶ―として、平松讓・柳沢淑郎・伊藤利行・市村緑郎の物故された先生方の特別陳列を行います。
- ・2023年より、名古屋巡回展に合わせ、名古屋松坂屋本店において準公式選抜展「白翔会」を開催することになりました。
- ・白日会本展にて、新たに会員賞(特別賞・絵画と彫刻を含め全体で1つ、常任委員は含まず)が設置されることが決定し、加えて百貨店賞(法人寄託賞・若手対象)も検討されています。

審査員

先の常任委員会にて、99回展の審査員を決定しました。(常任委員は全て審査員)
 絵画… 関口雅文 木原和敏 中島健太 阪東佳代 福井欧夏
 彫刻… 小橋暁子

第99回白日会展スケジュール

4日(火)	4月3日(月)	30日(木)	28日(火)	23日(木)	22日(水)	17日(金)	16日(木)	15日(水)	14日(火)	13日(月)	3月12日(日)
搬出 〔4月5日(水) 彩美堂業者搬出〕	閉会(15:00) / 作品撤去	公開クロッキー講座	休館日	初日・授賞式・講演会 / 選外搬出	陳列・賞選定(特・法)・巡回展選定	名札 / 作品移動	部屋割り・陳列準備	鑑審査(賞選定(含)・推挙)・発表事務	鑑審査(入選・落選)	搬入	搬入

会期：令和5年3月23日(水)〜4月3日(月) 会場：国立新美術館2F(2A・2B・2C・2D)

事業計画表

12月	9月	8月	7月	6月	4月	3月	2月
日付未定	3日	日付未定	2日	14日〜20日	19日〜25日	11日〜16日	5日
三越選抜展(日本橋三越本店)	研究会(日展会館)	日付未定	研究会(日展会館)	白日会会員選抜展(あへのハルカス近鉄本店タワー館11階)	白翔会展(松坂屋名古屋本店本館8階第一美術画廊及び第二美術画廊)	名古屋巡回展(愛知県美術館ギャラリー)	研究会(日展会館)
	研究会(日展会館)	日付未定	研究会(日展会館)	白日会会員選抜展(あへのハルカス近鉄本店タワー館8階)	白翔会展(松坂屋名古屋本店本館8階第一美術画廊及び第二美術画廊)	白日会展(国立新美術館) ※詳細は左記参照	

第98回白日会展 受賞者推挙者一覧

特別賞

内閣総理大臣賞 池田 良則 (絵画) 京都
 文部科学大臣賞 山本 大貴 (絵画) 東京
 SOMPO美術館賞

中沢弘光賞 龜山 裕昭 (絵画) 千葉
 富田温一郎賞 熊澤 真紀子 (絵画) 神奈川
 吉田三郎賞 吉間 春樹 (絵画) 千葉

伊藤清永賞 結城 照男 (彫刻) 山形
 平松讓 賞 関口 雅文 (絵画) 東京
 八咫鳥 賞 五月女 政巳 (絵画) 栃木

小川 雅史 (絵画) 岡山
 正田 みどり (絵画) 千葉

会賞

白日賞 苛原 治 (絵画) 神奈川

(副賞ホルベイン賞)

白日賞 松本 凌介 (絵画) 広島

(副賞クサカベ賞)

白日賞 内藤 千尋 (彫刻) 東京

準会員奨励賞 田中 裕子 (絵画) 千葉

準会員奨励賞 該当者なし (彫刻)

会友奨励賞 井口 和夫 (絵画) 東京

会友奨励賞 該当者なし (彫刻)

一般佳作賞 池田 宏介 (絵画) 京都
 一般佳作賞 川路 桐耶 (絵画) 熊本
 (副賞マツダ賞)
 一般佳作賞 松井 孝吉 (絵画) 滋賀
 一般佳作賞 服部 亜美 (彫刻) 埼玉

法人寄託賞

梅田画廊賞 松尾 勇氣 (絵画) 熊本
 関西画廊賞 朝日 夏実 (絵画) 大阪
 大有美術賞 吉間 春樹 (絵画) 千葉
 美岳画廊賞 苛原 治 (絵画) 神奈川
 ギャラリー大井賞 道本 勝 (絵画) 和歌山
 瀧川画廊賞 石濱 阿里紗 (絵画) 奈良
 ギャラリーアーク賞 津絵 太陽 (絵画) 東京

● 会員推挙

【絵画】

有川 利郎 埼玉
 太田 貞成 神奈川
 大橋 良子 千葉
 大原 永津子 静岡
 沖津 信也 山形
 川畑 太 奈良
 熊野 サチ 神奈川
 黒木 ゆり 広島
 金野 圭助 神奈川
 田中 知子 滋賀
 田中 裕子 千葉
 中川 道子 埼玉
 中島 あけみ 東京
 永瀬 美緒 東京
 中村 成代 三重
 西脇 恵 京都
 沼尻 康之 神奈川
 藤森 直樹 千葉
 古澤 新司 愛知
 政木 久美子 千葉
 松崎 善幸 長崎
 崎 裕子 岡山
 吉間 春樹 千葉
 和田 幹雄 山口
 平木 美和 熊本

【彫刻】



●準会員推挙

【絵画】

山口 和子	森重 美香	南 建	三井 敏之	松村 真理子	服部 知子	蜂須賀 仁	中山 十六	道本 勝	玉利 紀子	田中 真季	篠崎 好子	佐藤 みち子	左海 和人	佐伯 美穂子	小林 克敏	岸浦 有希	菊地 裕一	大泉 雄一	海老沼 清	江田 康夫	内山 みち	植村 千尋	犬童 征士	岩崎 喜美子	石濱 阿里紗	井口 和夫	浅井 秀雄
愛知	鹿児島	東京	東京	埼玉	愛知	愛知	岡山	和歌山	長崎	熊本	栃木	静岡	奈良	大分	愛知	埼玉	茨城	愛知	栃木	岡山	三重	三重	熊本	栃木	奈良	東京	大分

【彫刻】

吉田 道子	渡邊 奈保子	渡邊 裕榮	該当者なし
静岡	滋賀	長崎	

●会友推挙

【絵画】

角田 和子	玉木 充	武田 誠好	高橋 主也	園田 保博	白取 春映	佐藤 千代	佐々木 君江	小久保 薫	見城 康祐	窪田 紀子	久野 喜義	菊池 威	河西 博	小沼 竹男	岩本 澄子	苛原 治	伊藤 大悟	一瀬 千佳子	池田 宏介	井尾 和廣	安藤 則子	浅沼 利信
静岡	岐阜	長野	栃木	大分	東京	神奈川	岩手	埼玉	神奈川	大阪	愛知	長野	静岡	茨城	静岡	神奈川	埼玉	長崎	京都	大分	山口	東京

【彫刻】

朝永 丁心	中島 みどり	藤生 薫里	藤田 太	藤原 公子	古島 淑子	松井 孝吉	松田 栄治	松本 凌介	三谷 泰之	宮崎 宗人	村上 紘一	山神 敦	山口 茂	山下 保美	山田 利男	山本 茂子	若尾 篤志	渡邊 由美	佐々木 シュウジ	内藤 千尋	服部 亜美
愛知	宮城	埼玉	大分	埼玉	栃木	滋賀	滋賀	広島	東京	神奈川	岩手	大阪	長野	栃木	神奈川	大阪	東京	愛知	大阪	東京	埼玉

特別賞審査員

内閣総理大臣賞	瀧 悌三先生
文部科学大臣賞	土方 明司先生

受賞作品紹介



Halcyon Days
P 100

文部科学大臣賞

山本大貴



海風
F 100

内閣総理大臣賞

池田良則

特別賞



葉の影が落ちる白い部屋
F 80

富田温一郎賞 (副賞平澤篤賞)
大宥美術賞
吉間春樹



好日
F 100

中沢弘光賞

熊澤真紀子



林檎舎
123 × 200 cm

SOMPO美術館賞

亀山裕昭



黄昏
F 100

平松讓賞

五月女政巳



山彦は風と語らう
F 100

伊藤清永賞

関口雅文



小さき勇者
110 × 58 × 36 cm

吉田三郎賞

結城照男

八咫鳥賞（特別賞）
第48回展推挙



正田
みどり

朝のアンサンブル
F 100



小川
雅史

毘沙門天
79 × 108 cm

会賞



白日賞（副賞ホルベイン賞）
美岳画廊賞
苛原治

つめたい水平線
181 × 270 cm



白日賞

内藤
千尋

I think of tomorrow no one knows
112 × 31 × 29 cm



白日賞（副賞クサカベ賞）
松本
凌介

美しすぎる世界
P 150



会友奨励賞

井口
和夫

こもれ日
F 100



準会員奨励賞

田中
裕子

南国時間
F 100



花に雨
F 100

一般佳作賞

松井孝吉



アパートの自室
F 100

一般佳作賞 (副賞マツダ賞)

川路桐耶



Hua Hin
M 100

一般佳作賞

池田宏介



雲を追う
F 80

関西画廊賞

朝日夏実



緘黙
F 150

梅田画廊賞

松尾勇氣

法人寄託賞



さよなら高円寺
120 × 35 × 45cm

一般佳作賞

服部亜美



望郷
130 × 60 cm

ギャラリーアーク賞

津絵太陽



生まれるまえに聴いた音
F 80

瀧川画廊賞

石濱阿里紗



三つのベDESTAL
M 80

ギャラリー大井賞

道本勝



50年に亘って在籍された方に授与される八咫鳥賞。今年は絵画部で二名の方が受賞されました。

受賞者の皆様へ、受賞にあたり思い思いの内容でと、ご寄稿をお願いしました。

小川 雅史 (会員) 48回展会友推挙

「八咫鳥賞を受賞して (お礼)」

「八咫鳥賞」をいただきありがとうございます。ありがとうございました。ご連絡をいただき、もう50年か・・・と感慨無量です。あの時、白日会へ出品したから今があると、ありがたく思います。

大学卒業の年、故佐藤義太郎先生に勧められて初出品。佐藤先生に同行し、都美美術館へも訪れました。レベルの高い作品にも触れることができました。その時に、故小堀進先生にお会いしたことも、印象深く思い出します。

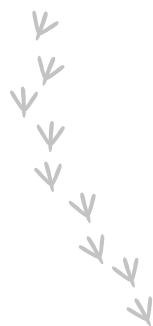
岡山での巡回展も数回開催していただきました。

その際は、前会長 伊藤清永先生、現会長 中山忠彦先生はじめ会の重鎮の先生方にお会いできたこともありがたかつたです。

岡山県井原市で生まれた彫刻家故平櫛田中先生 (昭和54年107歳で没、国立劇場に代表作「鏡獅子」があります) は、「60、70は鼻たれ小僧、男ざかりは百から百から わしもこれから これから」と言われています。私も77、これから これからです。

白日会の運営に当たって下さっている先生方に感謝を申し上げ、白日会のさらなる充実・発展を願い、お礼のことばいたします。

(岡山支部も立花博支部長を中心がんばっています。)*



正田みどり (会員) 48回展会友推挙

「感謝と思い出」

いつの間にか白日会の出品五十年が過ぎていました。初出品のきっかけを作ってくださったのは、二十才の時、当時県立本庄高校の教諭で、美術部顧問であり白日会々員の故、古川弘先生です。先生が「白日会に出してみるか?」と言ってくれた事が白日会との御縁の始まりでした。

当時、本庄高校の美術部は、古川先生の指導のもと、先輩達の絵のレベルも高かったのを憶えています。私は美術部員とは名ばかりで他の部活でした。先生は、部員達に、学校から帰る際、必ず部室のドアをガラリと開け、「帰るぞ!」と一言声を掛けてくれていたそうです。

また、私達学生数名で、児玉町の先生のアトリエを訪ねると、「皆の顔を見ると元気が出るよ。」と話され、又、「絵の仲間を大事にな。」とも言って下さり、いつも笑顔で接してくださいました。先生は、一九七七年二月に亡くなられたのですが、今でも先生の絵を観る機会があると、元気をもらっているのは私の方だと感じます。昨年、再び先生の絵を観る機会に恵まれ、感無量でした。

絵を描く事も、絵の中にある何かに触れる事も幸せです。その事を教え、導い

てくれた恩師古川先生、中山先生をはじめ白日会の皆様、絵の仲間感謝いたします。今後共、この教えを制作の糧にしたいと思っています。八咫鳥賞、有難うございました。

二〇二三年四月二四日



*一月現在、岡山支部の支部長は北川直枝会員に代替わりいたしました。

追悼のことば

令和三年の十二月、白日会にとって大きな存在でありました白日会顧問の柴田祐作先生がご逝去されました。

柴田祐作先生は昭和元年（1925年）に、千葉県香取郡佐原町に生まれ、佐原は当地に鎮座する香取神社の祭器土器をさす「さわら」の名の由来があり、また古くから水郷の街として栄えました。柴田先生はこの佐原の水郷を描く作家として日展や白日会展を主な発表場所としながら地元佐原の画家として活躍されました。

柴田先生は21歳にて小堀進先生に師事し、同年の第25回白日会展に初出品しました。小堀進先生は不透明水彩を用いた斬新な色彩構成感覚によって風景を描く作家として知られ、水彩画家で初めて芸術院会員となりました。そして終戦後の白日会を水彩の白日会とも言われるまで当会の水彩部門を発展させました。小堀進先生は香取市の隣の潮来市にお住まいで、柴田先生は小堀先生の元で絵の研鑽に励み、佐原の水郷を主題とした力強く堅牢な水彩画を確立され、小堀先生亡き後の当会の水彩部門を牽引され続けました。

柴田先生のご逝去にあたり、故人に所縁の深い会員より追悼のことばを寄稿していただきました。

■柴田祐作（顧問）

準会員推挙25回展 会員推挙29回展 中沢賞49回展
八咫鳥賞95回展 令和3年12月6日逝去 享年95歳



追悼 柴田祐作先生

前静岡支部長 青島紀三雄

私は先生の絵に惹かれていましたので、会合でお会いした折、ぜひ佐原へ遊びにいらつしやいとお誘いを受けたのを機に、もう三十年近く、親しくさせて頂きました。

先生は口数も少なく剛直な野武士の様な風貌で、常に話す時は緊張していた事を思い出しますが、実は飾らないお人柄

で、穏やかな優しい先生でした。しかし、先生の絵は時に荒々しささえ見せる大胆な筆遣いで、独特な調子の中に詩情と温かみを醸していました。

平成二十五年、初の「静岡水彩展」を企画。特別コーナーに「柴田祐作展」を併せて開催したい思いから、お宅へ伺い先生に趣旨を説明した時、「うん、よかつべ」の一言。雀躍して出展作品は、大作を多くして、十五点余を運び出し、静岡初の特別展開催となりました。お陰様で「静岡水彩展」は注目される展覧会となりました。残念ながら奥様の体調不良で先生ご夫妻の来静はかたがたありませんでしたが、中山会長・（故）深澤副会長、高梨先生らが来静され、また川勝静岡県知事にも来場をお願いしたところ、公務と重なり、副知事が来場されました。六日間の期間中一、三〇〇名余の来場者で、盛会裡に終了。柴田先生の絵を初めて観る人も多く、よい機会になった事は有難い事でした。後日、報告に伺うと先生は目を細めて頷き、喜んで下さいました。

静岡での「柴田祐作展」開催は、支部として大きな実績となった事と思います。白日会は水彩の第一人者、柴田祐作先生という大黒柱を失いました。あの十二月十日の葬儀の日、私は「祐作」というお名前が雅号であった事を初めて知り、驚愕しました。又奥様に久しぶ

りにお会いできたのは、何より幸甚でした。その後、佐原の川沿いを独り歩き、先生の「水郷風景」をもっと観たい想いを胸に帰路につきました。

柴田先生 長い間 有難うございました。



▶「白い橋」水彩 P100 98回展遺作展示作品

展覧会記録 個展・主なグループ展

令和三年十二月

佐藤洋子 絵画展 茨城結城蔵美術館

令和四年一月

寺久保文宣展 埼玉画廊

井阪仁絵展 日本橋三越本店

Primary Colors 横浜高島屋

果醐季乃子 長谷川晶子 吉住裕美

二月

長船善祐 油彩画展 山口井筒屋

冬の北海道紀行 横浜ギャラリーミロ

岡田高弘 佐藤陽也 広田稔

三月

長船善祐 油彩画展 札幌三越

ソレイユプラン展 渋谷東急本店

朝日夏実 岩本将弥 大路誠 小野月世 亀山裕昭

河菜直子 黒木ゆり 白井秀夫 鈴木真治 津絵太陽

徳田明子 西脇恵 真島稔 松林淳 村上ゆたか(他)

長尾浩一展 横浜高島屋

吉成浩昭展 横浜ギャラリーアーク

心のかたち 彫刻家・峯田義郎展 山形酒田市美術館

四月

北川直枝 テンペラ画展 倉敷満天屋

有田巧 フレスコ画展 丸善日本橋店

関口雅文展 日本橋三越本店

佐藤陽也 絵画展 福島うすい百貨店

アトリエ21 風景画展 福島うすい百貨店

岡田高弘 広田稔

第9回 山崎幹雄 水彩画展

三澤忠展

長野 山之内立志賀高原ロマン美術館

五月

長船善祐 油彩画展 鹿児島 山形屋画廊

洋画特集 白日会精鋭展 大丸京都店

久保尚子 北川直枝 児玉健二 三箇大介 堀井聰

松本実桜 山内大介 山本桂石

第9回現代作家美術展

新宿ギャラリー絵夢

関口雅文 寺久保文宣 長谷川晶子

白日会南日本同人展

池田茂 個展 銀座新井画廊

六月

沖津信也 個展

口澤弘 油絵展

亀山裕昭展

長船善祐 油彩画展

山形ギャラリーナナビーンズ

福井欧夏展

江口武志 作品展

(7月) 佐世保市博物館島瀬美術センター

七月

斎藤秀夫 油絵展 京王百貨店新宿店

石垣定哉 パステル水彩画展

秋元松子 記念展 日本橋高島屋

千葉 流山生涯学習センター

原太一 政木久美子

長尾浩一 洋画展

あべのハルカス近鉄本店

小林聡一 油絵展 渋谷東急本店

吉田直未 絵画展 大阪 京阪百貨店守口店

長船善祐 油絵展 丸善・丸の内本店

第5回土日会 7月展

新宿ギャラリー絵夢

小林辰平 村山きおえ

児玉健二 絵画展

あべのハルカス近鉄本店

塚原貴之 油彩画展

あべのハルカス近鉄本店

長船善祐 油彩画展

福岡 デイ・キューブギャラリー

第4回 覧の会 大阪高島屋

中山忠彦(賛助出品) 池田良則 久保尚子 児玉健二

三箇大介 高梨芳実 西谷之男 堀井聰 山本桂石

宇田川格展 横浜 仲通りギャラリー

かくかく展 横濱 ギャラリーミロ

宇田川格 納義純 大平嘉和 佐藤陽也 西沢貴子

吉住裕美 吉成浩昭

河野桂一郎展 日本橋三越本店

阿佐美展 新宿ギャラリー絵夢

高梨芳実 西谷之男

広田稔展 | 50冊のスケッチブック 横浜高島屋

(9月) 大阪高島屋

(10月) 京都高島屋

(11月) 日本橋高島屋

九月

poco a poco 横浜ギャラリーミロ

岡田高弘 杉本幸江

真夏の上五島紀行 横浜 仲通りギャラリー

岡田高弘 佐藤陽也 広田稔

第44回 北海道ロビー 絵画展

新宿ギャラリー絵夢

神山晃一 高梨芳実 塚原貴之

長船善祐 油彩画展 福岡三越

児玉健二 絵画展 八丁堀 美岳画廊

岡田高弘展 横濱ギャラリーアーク

原太一展 銀座 日動画廊本店

吉間春樹展

銀座ギャラリーアートもりもと

十月

白日 星の会 青山田島美術館 AOYAMA

今利美咲 小林聡一 佐々木剛 佐藤陽也 嶋中俊文

鈴木真治 茅原佳介 永田和之 廣瀬順子 柳田也寿志

山下あゆみ 山本健

長船善祐 油彩画展 広島三越

大分トキハ本店

皎の会

大阪梅田画廊
木原和敏 熊谷有展 児玉健二 関口雅文 寺久保文宣
広田稔 堀井聡 山本桂右 和田直樹

吉田直末の世界展 秋田 ギャラリーあい

十一月

中谷晃 油彩画展 大阪阪急うめだ本店
まほろ佐久に咲く素描展

新宿ギャラリー絵夢
岡田高弘 広田稔 村山きおえ

森田りえ子×生島浩

大田区ギャラリーフェルテ

堀山義孝 油彩画展 三重 松菱

面と線有田巧 比佐水音 二人展

熊本なかお画廊

神山晃一展

表参道隠田ギャラリー

長船善祐 油彩画展 静岡伊勢丹

La Fierre フェルテにまつわる17作品

大田区ギャラリーフェルテ

久保尚子 関口雅文 寺久保文宣 山内大介

WISH—広島市立大学の作家達展—

そごう広島店

有田巧 大路誠 亀山裕昭 友清大介

徳田明子 水彩画展

松坂屋上野店

堀博喜 油彩展

松坂屋名古屋店

広田稔 水彩画展 横浜ギャラリーアーケ

100枚のクロッキー展

横浜フェイアートミュージアムヨコハマ

岡田高弘 佐藤陽也 白田彩乃 広田稔

山本眞輔彫刻展 人間賛歌

愛知西尾市幡豆ふれあいセンター

山崎幹雄 スケッチ展

栃木 足利銀行 岡本支店

十二月

大山富夫展

銀座画廊 宮坂

池田良則展

京都 ギャラリーヒルゲート

久保尚子展

横浜高島屋

池川直彫刻展

銀座ギャラリーサムホール

※紙面の関係上、会員の個展及び主なグループ展のみの掲載となっておりますが、ご了承下さい。ホームページでは白日会事務所にお知らせくださった在籍者(会友以上)の展覧会はすべて掲載しております。

ホームページの展覧会掲載について

白日会ホームページにある在籍者(会友以上)の展覧会情報に掲載をご希望の方は、白日会事務所まで展覧会のDM等を郵送またはメールにてお送りください。

現在、郵便局の方針変更に伴い、発送から郵便物が到着するまで以前よりも日数がかかるようになりました。会期が近づいている展覧会のお知らせはなるべくメールをご利用ください。

訃報

小沢 一廣

令和4年8月逝去

利光 敏郎

令和4年12月逝去

石垣 定哉(常任委員) 令和5年1月逝去

※訃報の掲載は会員のみとなります。

※次号、石垣定哉先生の追悼文を掲載予定しております。

お知らせ

住所変更時のお願い

住所の変更がありましたら、なるべく早めに白日会事務所までご連絡をお願いいたします。99回展の住所録に反映されるのは2月半ばまでに届けられた住所となります。出品票に新しい住所を記入したものは来年の住所録に反映されます。

事務所の業務時間の短縮について

現在、感染症拡大防止のため、白日会事務所の業務時間を短縮しております。お問い合わせは出来る限りメールにてお願いいたします。お電話やFAXの場合はご返答にお時間を頂く場合がございますが、ご理解の程お願いいたします。

編集後記

会報の発行が昨年に引き続き遅くなりましたことお詫びいたします。中山会長のご挨拶にありますように、現在の社会状況の中で多くの若い方が出品してくださるのは朗報でした。同時に大きな存在であった先生や会員の訃報に接する悲しみがありません。最後に、内外関係の皆様のおかげをもちまして無事98回展を開催できましたことに深謝いたします。



発行 白日会事務所
寺久保文宣 阿辺隆 小河美智子
神山晃一 久保尚子 吉田純子
印刷 六光社